

ソンディ心理学研究所の WISC-IV 講座の構成について(200322)

【WAIS-IV 講座も基本的に同じ構成です】

ソンディ心理学研究所では、6 種類の WISC-IV 講座を開講しています。

- (1) WISC-IV 体験講座-----本講座では実際の検査器具やマニュアルを用いて、3 人一組で下位検査一つ一つを体験して頂きます。たとえば 1 番目の下位検査については、A さんが被験者で B さんがテスト、2 番目の下位検査については B さんが被験者で C さんがテストというように、順番に被験者とテストの体験をしていただきます。下位検査は全部で 15 ありますので、一つの下位検査の体験に 10 分必要と考え、すべての下位検査の体験には約 150 分(2 時間 30 分)を必要とします。そのため全ての下位検査の全問題を被験者として、あるいはテストとして体験できるわけではありませんのでご了解ください。実施手順と観察ポイントについても触れます。3 時間で 10000 円の講座になります。
- (2) WISC-IV テスター体験講座-----本講座では実際の検査器具やマニュアルを用いて、マンツーマンで全ての下位検査一つ一つをテストとして体験して頂きます。(1)の WISC-IV 体験講座では時間訂制約から全ての下位検査の体験は難しいのですが、こちらの講座では、全ての下位検査の施行を体験して頂きます。ポイント解説付きです。原則 3 時間で 15000 円となります。
- (3) プロフィール作成講座-----プロフィール作成の仕方を学びます。マニュアルを参照しながら、採点法、素点から評価点への換算、各指標得点の算出方法などを学習します。記録用紙 2 ページ目のディスクレパンシー比較、プロセス分析の算出とその意味を解説します。2 人以上の場合 2 時間で 7000 円、1 人の場合 10000 円の講座です。
- (4) WISC-IV 初級講座-----検査結果(プロフィール)をどのように解釈していくかを学ぶ講座です。下位検査の一つ一つについて実施手順、観察ポイント、どのような能力を測っているかについて解説し、事例を通して指標得点レベルの解釈、支援方法の初歩を学びます。3 時間 30 分で 10000 円の講座です。
- (5) WISC-IV 中級講座-----指標得点レベルの解釈、下位検査レベルの解釈など、いくつかの事例を取り上げ 3~4 名一組でディスカッションしながら事例の解釈法を学びます。ディスクレパンシー比較、プロセス分析、ケースレポートの書き方のコツについても解説します。中級講座は 3 時間 30 分で 10000 円の講座です。
- (6) ケーススーパービジョン-----実際の知能検査のプロフィールを基に解釈法、支援策の立て方、レポートの書き方を学びます。マンツーマンで行う場合と、数名のグループスーパービジョンの両方があり、随時お受けしています。レポート(所見)の添削指導も行います。グループの場合 2 時間 30 分で 7000 円、マンツーマンの場合 10000 円となります。

どの程度研修を受ければ「実施者としての力量が身に付くか」は一人一人異なります。たとえば WISC-III の経験が豊富な人は 10 時間～15 時間で大丈夫かもしれませんが、知能検査がまったくの初心者の方は 30 時間かかるかもしれません。人によってはそれでも足りない場合があります。

しかし、これで実施者として十分というわけではありません。実際に何ケースもテストを取り、何回もケースレポートを書き、それを元にケーススーパービジョンを何回も行い、徐々に実力を高めていくプロセスが必要になります。